

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020060

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町スポーツ振興事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	件数		#N/A	
事業目標	個人～2 団体～1	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 各種大会に出場する個人・団体への経費の補助	関係例規・法令名	有 雄武町スポーツ振興事業補助交付要綱	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	各種スポーツの分野で全道大会以上に出場する個人・団体に対して必要経費の一部を助成する。	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	スポーツ振興補助	
	スポーツ振興補助						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,377	400	400	400	777	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,377	400	400	400	777		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,630	648	181	335	826	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,630	648	181	335	826		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) パークゴルフ協会員遠征費 74千円 空手道遠征費 66千円 女子野球遠征費 105千円 高校各部活動遠征費 403千円	(実施内容等) パークゴルフ協会 51千円 高校各部活動 130千円	(実施内容等) パークゴルフ協会 29千円 高校各部活動 306千円	(実施内容等) 高校各部活動 447千円 中学女子野球 140千円 スノーボード 53千円	(実施内容等) 高校各部活動 610千円 中学野球 90千円 中学卓球 71千円 パークゴルフ協会 56千円	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	個人～2 団体～1	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 全体達成率	162%	45%	84%	160%	106%
	備考欄					76%	111%

事業名	雄武町スポーツ振興事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	大会出場個人・団体数								
【抱える課題やニーズは】	全道・全国大会への出場に際し、出場者の経済的負担が大きい。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会出場者の経済的負担の軽減。	① 出場種目 個人	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>40人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>2000.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	2人	実績値	40人	達成度	2000.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	2人										
実績値	40人										
達成度	2000.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	高いレベルの大会への出場を促進することにより、本町スポーツ愛好者の競技に関する技術や意識の向上を図るとともに、指導者としてその技能を町民に還元してもらい、本町のスポーツの活性化を目指す。	② 出場種目 団体	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1団体</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>0団体</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>0.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1団体	実績値	0団体	達成度	0.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1団体										
実績値	0団体										
達成度	0.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	全道・全国大会出場経費の助成	全国・全道大会出場者に対し、助成を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	高いレベルの大会に出場することは、出場者の競技レベルの向上につながる他、本町のPR効果も期待できることから、出場者の大会出場に係る経済的負担軽減は教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	目標を大幅に上回る制度の利用があったことから、本町スポーツ活動の活性化と競技意欲及びレベルの向上が図られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	申請内容を精査のうえ、実費に対して基準に基づく定率の補助を行っていることから、効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	大会成績を基準に助成していることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
経済的負担を軽減することにより、全道・全国大会出場への促進効果があった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
スポーツ活動の推進、指導者育成、大会出場者により培った技術の町民への還元、本町のPR効果など、多くの期待ができることから、継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止